

Interview with Ally course students

羅 云潔 (ラ ウンケツ) さん From China



北海道大学 大学院保健科学院、看護学コース 博士後期課程3年、Ally course 2期生

Q: 現在の研究テーマはなんですか？

A: 日本へ移住してきた中国人女性のメンタルヘルスのためのICTを活用した介入プログラム開発と検証についてです。

Q: Allyコースに参加しようと思った理由を教えてください。

A: 博士課程1年の時、国際機関で働きたいと思うようになりました。そんな時、Allyコースのポスターを目にしました。そこには、WHOやJICAなどの国際機関と連携した活動にも参加できることが書かれていたので、応募することにしました。
もうひとつの理由は、高いレベルの英語を学びたかったからです。

Q: いままでのAllyコースで最も印象に残った体験、講義、イベントなどは何ですか？

A: SaSSOHの学生セッションに参加したことです。
学生セッションの企画から実行まで、博士課程の学生だけで行っていることに驚きました。
また、学生セッションに参加することは、楽しく、やりがいのある経験でした。

Q: Allyコースへの参加は、今後の研究にどのように役立つと思いますか？

A: 看護学の知識だけで、健康関連の研究課題を解決するのは難しいと思います。Allyコースでの経験をもとに、今後の研究では、研究課題をさまざまな角度から体系的に検討し、適切な研究プロトコルを確立し、可能な解決策を総合的に検証していきたいと考えています。



We wish you further success in your research and Ally course!!